

### 第3回大津市ガス事業の在り方検討委員会

議 事 要 旨		
日 時	平成29年7月4日(火) 9:00~10:05	(公開非公開の別)
場 所	大津市役所 新館5階 251A会議室	公開
議 題	在り方検討における今後の論点について マーケットサウンディングについて	
出席者 (委員)	赤井伸郎委員長(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授) 草薙真一副委員長(兵庫県立大学経済学部教授) 青原みどり委員(大津市地域女性団体連合会) 本城正貴委員(本城公認会計士事務所所長) 山形康郎委員(弁護士法人関西法律特許事務所弁護士) 以上5名	
出席者 (事務局等)	山極正勝(公営企業管理者)、青木修(企業局長・施設事業長) 白井浩幸(企業局次長・企業総務長)、井上明(技術事業長) 三國昌克(企業総務課長)、佛性崇(経営経理課長) 東弘典(経営経理課長補佐) (以下官民連携推進室) 山田透(室長)、小高弥須夫(室次長・経営戦略課長補佐) 澤田靖人(主査)、大塚一貴(主査)、猪飼佑輔(主任)	
傍聴者	19名	
報道機関	5社	
内 容		
事務局	開催挨拶	
山極管理者	挨拶	
委員長	<p>本日は第3回である。第1回では基本方針について、第2回では今後どのような方向性がいいのかということ議論した。現在の公営では、このままでは自由化の流れがあり、厳しいと考えられる。そこで、新たな展開として、一部の業務で民の力を借りるという意味での民営化、また、これまでの安全・安心を守るという意味での上下分離の可能性を踏まえ、いろいろな可能性をシミュレーションしながら検討していくとされた。</p> <p>その民営化の在り方も、民間の会社の方から出資を受けるのか、それから大津市がどこまで関与していくのか。もちろん、今まで行ってきた安全・安心というものを守りながら、できるだけ市民の皆様にこれまでどおり、また、これまで以上のサービスを提供できる形の在り方というのを考えていこうという流れになっていると思う。</p>	

	<p>本日は主に、今後どのような論点を議論し、方向性を見極めて、今後の会議に向けた議論をしていきたい。</p> <p>それでは、議題に入る前に、報告事項として、これまでの状況と今後のスケジュールについて、ご説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料1について説明</p> <p>【資料について質疑】</p>
副委員長	<p>第4回以降の委員会は非公開ということだが、非公開になる根拠というのをご説明いただきたい。</p>
事務局	<p>第4回から実施方針案の作成に向けた取り組みをするわけだが、本市の出資会社も含め、民間企業様の財務情勢や顧客の取引先情報等も議論の内容に含まれるかということもある。そうしたことや、市の事業の収支の詳細や具体的な検討においては、自由化市場の環境下において、競争相手となる事業者様に対して、市のガス事業の不利益となる情報を含むような可能性もある。その他公募における競争性、あるいは公平性の影響等も懸念されるということが挙げられる。</p> <p>また、今後の検討においては事業者の選定や市と民間事業者の利害に関わる条件設定など、そういった内容の議論もされると考えている。委員間の率直な意見交換等が重要となることから、他都市のこういった取り組みのプロセス等も見てきたわけだが、こういった議論については、非公開で行われているというところもあり、そしてまた本市の情報公開条例の非公開情報を規定する第7条の2号および5号、6号にも該当する内容と判断しているところである。</p>
事務局	<p>資料2について説明</p> <p>【資料について質疑】</p>
委員	<p>3ページの一般ガス導管事業、ここはポツが8つあるが、この8つで一般ガス導管事業を全部切り分けられていると見て良いのか。5ページのどこまでを切り分けるかということの、対応関係について補足で説明をいただけたらと思う。</p>
事務局	<p>3ページで入れているところは、どちらかというと今現在企業局で行っているセクションで分けたようなところで、事業の分けをしている。</p> <p>5ページはさらに大きな括りとしている。</p>
委員長	<p>3ページののところも、今後は分かりやすくし、細かい業務を見ていく上</p>

	<p>で、混乱しないようにということと、託送料金の設定などが5ページに入っていないので、今後明示していただけたらいい。</p>
委員	<p>今の既存出資会社との連携についてというところの、機器販売それからパイプラインサービスおおつの保安、これは5ページの中には入っていないが、外注しているということによいか。または含まれる部分があるのか。</p>
事務局 事務局	<p>委託業務として、発注している状況であるので、関連性がある。 今後提示する資料については、大分類、中分類、またこれから小分類というところも出てくるので、それをちょっと関連付けるような番号等を振り、資料のほうを作成したいと思う。</p>
委員長 副委員長	<p>出資会社との関係もお願いしたい。 そういう意味では、一般ガス導管事業の部分は、需要調査、需要開拓なども、一般ガス導管事業者の責務だと思っており、そういった業務も入っていていいと思う。</p>
委員	<p>どの事業がどういったコストがかかるのか。固定費、つまり固定的な費用か、変動費なのか、人件費をどう見るかというところがある。それから、収益、この先、お金をどの事業分野で獲得していくかによって、費用のかけ方が決まってくるため、費用構造（固定費と変動費）について、可能な限り明確にさせていただけるようお願いしたい。</p>
事務局	<p>しっかりとコストで表せるもの、例えば委託業務であればコストとして表せる。ただ、いろいろな業務の中で、例えば職員が直営でやっているという業務もあるので、極力分かる範囲で提示をさせていただく。</p>
委員 事務局	<p>事業スキームなど専門用語がちょっと難しいなと思う。 事業スキームということで、確かにちょっと聞き慣れない言葉ではあるが、事業の形というか、形態というか、どういった事業にしていくかという形態的なものを指すといった言葉である。 シミュレーションについては、今後の新たな試算、比較ということである。</p>
委員長	<p>どうしても英語が多くなってくる。最終的に市民の皆様へ説明するときは、より分かりやすい形を目指してもらいたい。</p>
委員長	<p>論点として2ページにまとまっているが、まずは一般ガス導管事業に関しては、細かい小項目まで挙げていただき、本当に何が望ましいのかを</p>

	<p>議論してまいりたい。</p> <p>それから、8ページの既存出資会社については、出資している会社と競合するというのも少しおかしな話でもあるし、また新しい会社をつかって、さらにそこから委託するというのも効率的なのかという議論もあるので、どのような形で行っていいのかというところである。例えば4番の形では具体的にどうなるのか、そういうところも見極めながら、望ましい出資会社との関わり方、統合も含めて考えたいと思う。次回委員会では、その細かい資料も出していただき、出資会社との関係をどのようにしていくべきかというのを議論できればと思う。</p>
事務局	<p>資料3について説明</p> <p>【資料について質疑】</p>
委員長	<p>2ページにあるように7月中旬から少しお話を聞くということで、まだ詳細も決まっていないが、それに対しての民間の視点からの意見、出資比率や効率化の余地など、そういったことを聞きたいと思うが、それに関して何かご確認、ご意見はあるか。</p>
委員	<p>このポイントは、前に参加していただいていた事業者が、それなりの数いるので、あえてもう一回ゼロから広くヒアリングするというよりは、こここのところにもうちょっといろいろな大きな枠組みについて、限られた時間内で効率的に意見を吸い上げたいという、そういう趣旨と考えていいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>スケジュール感も含めてであれば、この進め方でいいと思う。</p>
副委員長	<p>大口は10万㎡以上と考えてよいか。そして、そのことと、このマーケットサウンディングというのを絡めるのか。これについては、しっかりと最初から決めておかれるべきではないかと思う。</p>
事務局	<p>大口の定義はこれまで10万㎡/年以上とされているが、100万㎡以上/年のお客様を大口と呼んでいる場合もあるので、整理をさせていただく。また、スイッチングの想定についてもヒアリングの中で民間事業者様から見れば、どういうふうに感じているのかについて尋ねていきたいと考えている</p>
副委員長	<p>マーケットサウンディングをされる場合、小口のほうにどういうお考えをお持ちなのか、これは聞いておかれるべきだと思われる。</p>

事務局	一般家庭用、特に一般家庭用を含めた小口のお客様といったような表現でお聞きしたいと考えている。
委員	ヒアリング形式でサウンディングされるということなのだが、実施方針を作るに当たって、提案していただけるようなヒアリングの仕方をしていただくようお願いしたいと思う。
委員	私たちは、これまで公営で実施されていたことにより、安心して過ごせたのだが、不安もあるかと思う。いろんな競合が出てくると、値段も上昇したりするのではないかと思う。
委員長	下がるかもしれない。下がっても全く知らない会社だと不安はある。その不安と値段のバランスである。
委員	そうである。大津市に住んでいたら、すごく安心感を持ちすごしていたが、そのような不安があるかなという感じである。
委員長	今の意見は安全・安心と料金の安定化みたいなものを含めて、もちろん市民のために一番良い制度は何なのかというのを、一番に考えているということなので、そこは大事にしていきたい。
事務局	もちろん、市民の皆様は我々ガス事業者からするとお客様である。やはり大事にしていきたいということで、当然これまでの信頼感、安心・安全といったものも継承しながら、料金面についても、市が関与し、料金設定の上限を設定するなり、あるいはモニタリングという言い方をしているが、市が関与していく。そういった形で関わりを持ちながらやっていきたい。
委員長	マーケットサウンディングに関して、最後の視点であるが、市民への安心感、市が関わるというところを前提にした上で、民間の方にどのように入っていただくのが望ましいのか。民間に全部売却した場合の民間の意見と、また市が関わりを持っていくという意向を伝えた上での民間の意見は変わると思うので、現段階では今後どうしていくのか、詳細が決まっていないので、マーケットに詳しいプロの方から、今後の大津市の方向性について、どの形が一番望ましいのかのアドバイスのようなものを受けるといような形になるかと思われる。 8月下旬の第5回委員会にマーケットサウンディングの結果をお示しいただき、今後シミュレーションをしていく上で、マーケットサウンディングで得られた視点もシミュレーションに反映していただくと、より現実的で、まさに民間が考えている良い方法があるのであれば、そういう

事務局	<p>効率化案も含めた形の経営シミュレーションもできると思う。それではこのような形でマーケットサウンディングは行っていただくということにしたいと思う。</p> <p>次回の第4回委員会については、7月31日月曜日に開催を予定しておりますので、よろしくお願ひします。委員の皆様、本日はどうもありがとうございました。第3回委員会はこれもちまして閉会します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----	---